

第37回町内会総会開催

第二毘沙門台町内会総会が開催されました。

3月29日、平成27年度総会が毘沙門台小学校体育館で開催されました。当日は、好天にも恵まれ、出席152名、委任状提出者516名、計668名、参加率75.2%となり、町内会運営に関する住民の意識の高さが示されました。

総会は、物故者に黙とうの後、西木会長あいさつに続き、武田副会長より26年度事業報告、高家副会長より決算報告があり、名雪監査役による監査報告がありました。



主要事業がすべて中止された26年度であったが新規企画として実行した、親子三代の交流会や、敬老祝賀会対象者全員に紅白のお餅を手配りするなど、新しい企画が実施され、新たなコミュニティ活動により新たな成果が報告されました。町内会以外の、さざなみ会、子ども会も活動の報告があり積極的な活動も力強く思いました。

質疑応答の後に、一括した採決が行われ満場一致で可決されました引き続き、平成27年度事業計画案および予算案の説明と執行部役員案が提

案され、賛成多数で承認を受けました。

今年度限りで退任される、会長と副会長2名、監査役の退任あいさつと、新役員の紹介があり、27年度新体制による町内会運営がスタート致しました。

文 責 林

～ 新町内会長のご挨拶 ～

このたび前西木町内会長より会長を仰せつかりましたB区に所在する横田 忠美 と申します。

町内会への在任は約37年と長くはありますが、長期のサラリーマン生活で町内全体の把握はまだ不十分な所があり、これから少しずつ学んでいきたいと思っております。前、西木会長、林、高家両副会長は長年にわたり町内会に携わられたベテランでしたが、新会長、副会長は経験が乏しいので、当面の間は前任者より引継ぎの下記の4つの指針を推進しながら町内会を進めていきたいと思っております。

1. 安心安全の街づくり。
2. 近所・近隣の共助づくり。(名前で呼び合えるあいさつ運動の推進)
3. 高齢者の皆さんが集える同好会づくり。(いつまでも元気で活動できる健康づくり)
4. 子ども達への目配り気配り、役員は率先して推進する。

しかしながら、同町内も年々高齢化が進み、現在では高齢率が38.4%を超える状況になってきています。昨年のNPOの調査でも70%以上の方がこのまま現地で住み続ける事を希望されている事を考えますと、安心・安全でいかに楽しく生活出来るかを町内会としてどの様な形で応援できるかを役員一同で検討しながら一歩でも前進したいと思っております。

皆様のお力をお借りしてよりよい第2 毘沙門台町内会にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

会長 横田 忠美

毘沙門台小学校 入学式

4月8日(水)

今年は桜も早く咲き、散り始めた肌寒い朝、父兄に手を引かれて登校してくる、62人の新一年生少し緊張気味で心配そうな様子でした。

上級生に手を引かれて歓迎の花のアーチをくぐって入場をしてきました。先生に名前をよばれ大きな声で返事が出来、校長先生のお話も静かに聞くことが出来ました。



本年度、飯室小学校より転任してまいりました安永 千代美と申します。15年前まで教員として毘沙門台小学校に勤めておりましたので、この度の移動を大変嬉しく思っております。前任の山名校長同様、信頼される学校づくりに努めてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、新一年生62名を迎え、全校児童数373名、教職員33名で出発いたします。

本校教育目標である「人間性豊かな毘沙門台っ子の育成」に向けて、家庭、地域の連携を一層深めながら、本校職員一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。地域の方々には日頃より本校の見守り等で大変お世話になり、ありがとうございます。一層のご支援、ご協力を心よりお願い致します。どうぞよろしくお願い致します。

毘沙門台小学校校長 安永 千代美

27年度子ども見守り隊 顔合わせ会

平成27年4月6日15:00よりにししゅうかいしょに於いて

「子ども見守り隊」の顔合わせ会を開催しました。

「西木」前町内会長並びに新任の「安永」新校長を迎えて18名の参加者で子ども達の様子や見守り時の交通状況等の話を交わしました。

子ども達のマッチでの火遊び、不審な調査をしているグループ、熊?の目撃等の報告又、登・下校時の子ども達の挨拶以前よりよくなったとか、マナーのよくなかったドライバーが大人しくなった等の問題の改善された様子に見守り隊の成果を感じるものがありました。

今後もこの良き状況を続けられるように「子ども見守り隊」の皆さんに見守って頂けるという意気込みを参加者全員の方々から感じました。



防犯部 佐伯和美

社協だより

平成27年度 学区社会福祉協議会総会が開催されました。



4月5日、学区集会所において平成26年度毘沙門台学区社会福祉協議会の総会が開催されました。議決対象者84名のうち、出席者55名、委任状提出16名の計71名となり総会規約(第17条)議決条件である過半数を超える84、5%で本総会の成立報告がされました。総会は前年度物故者47名に対して黙とうを行い、総会議長に猫本 正氏を選出して議事に入りました。

木村 忠信会長より、8.20豪雨土砂災害の影響を受け、社協主要事業の敬老祝賀会も中止となり、町内会行事も夏祭り、秋祭りも中止となる異常事態の一年であった。

「毘沙門台学区の高齢化が年々進行していて、三町内会を柱にして、民児協、学区社協がしっかりと手を携えて対応していく」と挨拶があった後に、26年度事業報告、決算報告、監査報告と続き、質疑の後、賛成多数で採決されました。引き続き、27年度事業計画案、予算案、規約改定の報告後に、木村会長より執行部人事の説明があり賛成多数で採決されました。引き続き社協運営に多大な貢献をされ、今年度で退任される、西木 和民 副会長の挨拶があり、11時10分総会が終了しました。

平成27年度の社協事業計画

「施策の共有と協働」による総合力の発揮を掲げ、下記の施策に取り組む方針が表明されました。

「居心地の良い、元気な団地の実現」に向けて！

1. 近隣ミニネットワークの再構築(町内会・社協・民児協の連携推進)
2. 元気な団地実現を目指す施策「健康増進施策の展開」。
3. 防災力強化施策の推進「災害時のとっさの判断力」習得の支援
4. 「花いっぱい運動」の協同作業を通じた地域コミュニティ力の拡充
5. 近隣公園を活用した三町内会合同催事の検討(検討委員会の立上げ)

住民の皆様にも理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

ひとこと助言



本文イラスト：黒崎 玄

- パソコンや携帯電話などへのメールで、利用した覚えのない料金を請求される「架空請求」に関する相談が寄せられています。
- 「期日までに連絡するように」など書いてあっても、絶対に連絡してはいけません。業者からの請求がエスカレートしたケースもあります。
- 「訴訟を起こす」「弁護士対応になる」など不安をおおるようなことが書かれていても、利用した覚えがなければ決して支払わず、無視しましょう。
- 支払い義務があるかどうか判断できない場合や心配なときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。

見守り新鮮情報 第219号(2015年4月8日)発行: 独立行政法人国民生活センター
広島消費生活センター082-225-3300

第2 毘沙門台町内会防犯部

見守り 新鮮情報

未払い代金の債権回収をしているという業者からパソコンにメールが届いた。「滞納しているインターネット接続回線と有料サイト利用料の請求」とのことだが、利用した覚えがない。

「期日までに

連絡しないと、**法的**
手段に訴える」と書いてある。業者には連絡していないが、どうしたらよいか。

(80歳代 男性)



**利用した覚えのない請求は
支払わずに無視しましょう!**

梅雨前の一斉清掃のお知らせ

平成27年5月17日(日)

雨天の場合 翌週 5月24日(日)に延期

午前 8:00~1時間ぐらい

場所 区ごとに決定 (各区長さんの指示に従ってください)

環境衛生部



総会のしおり訂正箇所

- 1、14ページ防犯部長佐伯(さえき⇒さいき)
- 2、17ページ幹事大村⇒(だいむら⇒おおむら)
- 3、22ページさざなみ会武田(4-25-19⇒4-25-15)
- 4、秋祭り10月10日⇒10月上旬予定

編集後記

27年度社協だよりを加えて
町内の沢山のニュースをお伝え
したいと思います。

広報部三角